



日テレ・ベレーザの懐かしのグッズを ぬいぐるみ『くみぐま』にリメイク 世界に一つだけの応援グッズ製作プロジェクトを開始

全国の自治体や企業とともに地方創生プロジェクトを企画・運営しているボノ株式会社（東京都文京区／代表取締役：横山貴敏）は、日テレ・ベレーザ（東京ヴェルディ株式会社）と業務連携し、倉庫に眠っている未使用の商品（プラクティスシャツなど）を『くみぐま』にリメイクし、世界に一つだけの応援グッズをつくる取り組みをスタートさせます。



くみぐま[®]とは

『くみぐま』は、手・足・耳など12個のパーツをくみひもを使って組み立てるぬいぐるみです。東京都が行う地域資源を活用した新製品の開発を支援する「TOKYOイチオシ応援事業」に採択され、20社以上の企業やクリエイターの協力のもと開発されました。企業などとコラボレーションして生まれた多種多様なオリジナルパーツを組み合わせることで、様々なデザインの『くみぐま』が作れます。



オリジナル応援グッズ

第一弾として、数年前のシーズンまで販売していたプラクティスシャツ、Tシャツ、スウェットパーカーを『くみぐま』のパーツ（手・足・耳など）にリメイクするオーダーを完全予約制で承ります。受付は東京ヴェルディのホームページにて11月7日から開始します。リメイクのオーダーはベレーザの選手と交流しながら作成することができます。例えば、選手の背番号や座右の銘などの刺繍を入れたりすることも可能です。※応募者多数の場合は抽選となります（今シーズンは限定5名様）

リメイク対象グッズとくみぐま完成イメージ



1. Tシャツ



2. プラクティスシャツ



3. スウェットパーカー

くみぐまパーツ（手・足・耳など）完成イメージ



会社概要

商号 :  **ボノ株式会社** /  **我楽田工房**
 代表者 : 代表取締役 横山 貴敏
 所在地 : 〒112-0014 東京都文京区関口1-29-6,1F
 設立 : 2008年7月10日
 URL : [http:// bono.co.jp/](http://bono.co.jp/)



ボノ株式会社は、「地域から新たに百年の価値を創造する」会社として、全国の自治体や企業とともに新しい事業の創造やソーシャルデザインを行っています。2014年7月から、東京と地域をつなぐコミュニティスペース「我楽田工房」を立ち上げ、地域をテーマとしたイベントやフィールドワークなどを全国で展開。今日までに、都会の大学生と地域をつなぐ地域交流事業「まち冒険」や、病院ではなく地域の中で活動する看護師を養成する「コミュニティナースPJ」など、数々の地方創生プロジェクトを展開しています。



本件に関するお問い合わせ先

 **ボノ株式会社**

担当：谷津 孝啓

Tel: 03-6228-0051

E-Mail: info@bono.co.jp

※TOKYOイチオシ応援事業とは？

東京都及び（公財）東京都中小企業振興公社は、地域の持つ強み、特色である「地域資源」を活用した新製品・新サービスの開発を行う中小企業等を支援する「TOKYOイチオシ応援事業」を開始。その支援事業の一つに、東京の工芸品をつなぐ『くみぐま』事業が採択されました。『くみぐま』は、魅力にあふれた地域資源を発掘し、地域経済の活性化を図るツールとして、全国へ展開していきます。